

令和5年度第1回愛知県学校法人等助成審議会 会議録

発 言 者	発 言 要 旨
事 務 局	<p>お待たせいたしました。ただいまから令和5年度第1回愛知県学校法人等助成審議会を開催いたします。</p> <p>浅野委員がまだお見えになっておりませんが、事前に遅れてくるとの連絡がございましたので、このまま始めさせていただきたいと思います。</p> <p>本日の会議は委員16人中、現時点で13人の委員にご出席いただいております。愛知県学校法人等助成審議会条例第4条第3項に定めます、委員の半数以上の出席条件を満たしておりますので、有効に成立いたします。</p> <p>それでは会議に先立ちまして、会長から御挨拶させていただきたいと存じます。</p>
会 長	<p>(会長あいさつ)</p>
事 務 局	<p>次に、伊藤県民文化局長から、御挨拶を申し上げます。</p>
県民文化局長	<p>(県民文化局長あいさつ)</p>
事 務 局	<p>審議に入ります前に、前回の審議会以降、委員の一部に異動がありましたので、新たに委員にご就任いただきました方々を御紹介させていただきます。</p> <p>お手元に委員名簿と配席図を配布しております。</p> <p>御紹介にあたりましては、名簿順に御紹介申し上げます。</p> <p>(委員紹介)</p>
会 長	<p>それではお手元の会議次第に基づきまして、審議を進めて参りたいと存じますので、何卒議事の進行に御協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。</p> <p>まず、審議に入ります前に、運営要領第5条の規定に基づき会議録署名人2名を指名することになりますが、今回は、小杉委員と大谷委員を署名人として指名させていただきたいと存じます。小杉委員、大谷委員、署名をお引き受けいただけますでしょうか。</p> <p>(両委員より「はい」の回答あり)</p>

発 言 者	発 言 要 旨
会 長	<p>よろしゅうございますか。よろしくお願いいいたします。ありがとうございます。</p> <p>それでは、会議次第5の令和5年度愛知県私学振興関係予算につきまして、事務局から御説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>(「令和5年度愛知県私学振興関係予算」について説明)</p>
会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それではただいまの説明につきまして、御質問ございましたらご発言いただきたいと存じます。</p>
委 員	<p>確認をさせていただきたいのですが、今回諮問の対象となっている経常費補助の総額を御説明いただきましたけれども、これは前年とか、過去との関係でいくとどういった状況なのか、教えていただければと思いますがよろしいでしょうか。</p>
会 長	<p>事務局お願いします。</p>
事 務 局	<p>説明の中でもちょっとふれたかと思いますが、小学校や、中等教育学校後期課程というのは、予算単価かける生徒数で単純に配っています。</p> <p>これは、議会に諮った予算の積算方法と同様であり、議会の議決を経て成立しているものでございますので、あえてこの場で諮問する必要がなく、ここでの説明に留めているというものでございます。</p>
会 長	<p>他に皆さん何か御意見ございますか。よろしいですか。</p> <p>それでは、他に御質問もないようですので、会議次第の6「報告」につきまして、事務局から説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>(「報告」について説明)</p>
会 長	<p>はい。どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、ただいまの説明につきまして、御意見、御質問等あれば、どうぞ。</p>
委 員	<p>この見直しに関して、大きく影響を受けるような中学校、幼稚園、専修学校さんというのはあるのでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
事 務 局	<p>なるべく一校一校の差異が出ないように努力はしておりますが、どうしても減点から加算、という形なので、まったくイコールにはできません。</p> <p>試算ではありますが、中学校については一番大きいところで、3億7000万くらい貰っていたところが3億5000万くらいということで、千数百万くらい下がるような学校もございました。</p> <p>単価をどうするかはまた来年度に皆様に御審議いただきますが、それぐらいの額の変動があると思っています。</p>
委 員	<p>高等学校を変える時も同じようなことを申し上げたのですけれども、もちろん関係する団体さんたちとよく話はされていると思いますので、やはりそういう激変されるような学校さんの理解が十分に得られるように事前説明をお願いしたいと思います。</p> <p>以上です。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。他に御質問等ございますか。よろしゅうございますか。</p> <p>他に御質問もないようですので、会議次第の7「諮問事項」の審議をお願いします。</p> <p>本日、御審議いただきます事項は、お手元の会議次第を1枚おめくりいただいた「学校法人等に対する助成について（諮問）」のとおりであります。それでは、諮問番号5-1「令和5年度愛知県私立学校経常費補助金の配分方法について」を事務局から御説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>（「令和5年度愛知県私立学校経常費補助金の配分方法」について説明）</p>
会 長	<p>それでは、ただいまの説明につきまして、欠席された委員から御意見があれば、書面にてお伺いすることとなっておりますので、もしあれば御披露いただきたいと思っています。</p>
事 務 局	<p>本日欠席された委員からの御意見はございませんでした。</p>
会 長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>それでは、ただいま御説明について皆様から御質問募りたいと思います。いかがでしょうか。</p>
委 員	<p>先ほども質問が出たところとかぶるかもしれないですけども、見直しをされた部分で、影響がなにがしか生ずると思うのですけれど、そういうことに対</p>

発 言 者	発 言 要 旨
事 務 局	<p>して、学校側には説明の方は十分されているという、そういう立場でいらっしゃるといふ理解でよろしいでしょうか。</p> <p>今回の見直しにつきましては、今年度の早いうち、学種によっては昨年度の段階から、こういった方針でいきますよとアナウンスをして、細かい試算等々もお見せしながら進めておりまして、今回報告させていただくようになったのは、各団体の方から、概ねこれでOKだというお言葉いただきましたので、今回御報告させていただいたという経緯でございます。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。他に御意見はありますか。</p> <p>私の方から参考までに教えてほしいのですけれど。</p> <p>当初説明あったように、私学助成 725 億余円を配布するという、この水準ですね。他の都道府県と比べてどの水準にあるんですか。</p>
事 務 局	<p>総予算の 725 億余円というものを、他の都道府県と比較したということとはございません。</p> <p>例えば現在、皆様で審議いただいている、経常費補助金でいきますと、国財源措置単価という言葉を使わせていただいたんですが、毎年、文部科学省が、経常費の各学種の 1 人当たりの単価はこれですよというものを 1 月の 20 日前後に示します。</p> <p>現在、高校と幼稚園は、この国財源措置単価と同額にしてあります。</p> <p>中学校や小学校はちょっとそれより低い額となっております。</p> <p>他県を見てみますと、その額よりも高い額の都道府県もあれば、低い額の都道府県もありまして、ここについては考え方がまちまちになっていきます。</p> <p>理由としては、1 月 20 日前後と、発表時期が遅いということがまずあって、各都道府県予算が大分進んでますので、それでちょっとバラバラになるのかな、というのが私の個人的な感想ですが、ズレはやっぱり高い県から低い県までであり、愛知県は大体真ん中あたりです。</p> <p>あと、725 億円の予算の中で、もう 1 個大きなポイントは、授業料軽減補助金と入学納付金補助金。これは学校ではなく、保護者の方に行くお金でございますが、これにつきましては年収でいうと 720 万円の世帯の方まで、授業料と入学金を入学金でいうと 20 万円、授業料で 40 数万円っていう県内の高校の平均額まで無償化しております。</p> <p>ここにつきましては、我々愛知県よりも高いところは、今年度ですと東京都と福井県が 910 万円の世帯まで無償化しております。</p> <p>他には、埼玉県や神奈川県が本県と同程度であります。我々よりも高い県は他はないわけでございます。</p> <p>あともう 1 個特徴がありまして、我々は入学金も無償化していると言いまし</p>

発 言 者	発 言 要 旨
会 長	<p>たが、入学金まで無償化する県は他にはございません。私学団体の方からもそこについてはトップクラスじゃないか、というようなお言葉をいただいているというのが今の現状でございます。</p> <p>といたしますと、高校教育までは、実質義務教育だとそういう大きな流れの中での話ということですね。</p>
事 務 局	<p>ニュースでご覧になられた見られた方もいると思うのですが、大阪はもう公立私立ともに無償化するというふうに宣言し、来年度は3年生、再来年度は3年生と2年生、3年後には全学年が無償で通える、というような制度を打ち出しました。</p> <p>無償化をそこまで広げるといった県は大阪のみです。</p> <p>国が、就学支援金制度を拡充すれば、各都道府県も制度を拡充すると思うのですが、まだ国の就学支援金は年収590万未満ぐらいまでしか補助しないという形になっておりますので、今の大阪府の動きで、これから各都道府県及び文部科学省がどう進んでいくのかについては、我々も注視していこうと思っておりますが、会長がおっしゃるように中学と同じように、高校もほぼ義務教育として無償化、ということまで議論が進んでいるとは感じておりません。</p>
会 長	<p>はい。ありがとうございました。その他に皆様御意見ございますか。よろしでしょうか。</p> <p>はい、それでは御質問もないようですので、審議を終了し採決したいと存じます。</p> <p>ただいまの諮問番号5-1「令和5年度愛知県私立学校経常費補助金の配分方法について」は、原案を可とすることに御異議ございませんか。</p> <p>(「異議なし」の声あり)</p> <p>よろしゅうございますか。ありがとうございます。</p> <p>御異議なしと認め、本案件につきましては、「原案を可とする。」旨の答申を知事に提出することといたしますので、よろしく願いいたします。</p> <p>これをもちまして、議事を終了させていただきたいと存じます。なお、本日の審議結果につきましては、この後、県のホームページにおいて、発表することといたしておりますので、ご承知おき願いたいと思います。議事の進行に御協力をいただき、誠にありがとうございました。それでは、進行を事務局へお返しします。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
事 務 局	ありがとうございました。 それでは、最後に伊藤県民文化局長よりご挨拶を申し上げます。
県民文化局長	(県民文化局長あいさつ)